

議会だより

# 声のかけ橋

■3月定例会

- 平成23年度 一般会計予算 .....2~5
- 条例、請願・陳情 .....6~7
- 代表質問.....8~13
- 一般質問~9名の議員が市政を問う~ .....14~22

■ふるさとを  
訪ねて ~犬飼町渡無瀬地区~ .....23

■BCAT~市議会の話題や活動を紹介~ .....24

■2年を振り返って .....25

■キラリひと言 .....26



平成23年度 一般会計予算

大型事業により

対前年度比

3.92%の

増増増

270億2000万円

平成23年度一般会計予算総額

平

成23年第1回定例会は、3月1日から3月18日までの18日間の会期で開催されました。

市

長から、平成23年度の施政方針演述に続いて、平成23年度の当初予算や豊後大野市民病院医師研修資金貸与条例の制定についてなど75議案が提出されました。

第

35・36号議案、工事請負契約の変更（高速情報通信網整備事業センター施設整備工事310万6950円の減額、高速情報通信網整備事業伝送路整備工事1億3590万1500円の増額）および第79号議案、工事請負契約の締結について（三重中学校校舎改

最

終日には、行財政改革特別委員長から、豊後大野市議会議員の議員報酬の特例に関する委員長報告があり、これまでの1年半で700万2900円を削減してきたこと。5%減額後の報酬は、大分県下14市の中で最

下

位にあること。議員自ら報酬を減額したことにより、議員一人ひとりの行政改革に対する意識が高められたこと。これらの点を踏まえ、平成23年4月以降の議員報酬の5%減額については継続しない旨の報告があり、豊後大野市議会議員の議員報酬の特例に関する条例を廃止しました。その他の議案については、いずれも可決しました。



会計別予算

会計名		23年度当初	22年度当初	前年度比(%)
一般会計		270億2,000万円	260億円	3.9
特別会計	国民健康保険	53億7,999万5千円	53億6,501万4千円	0.3
	国民健康保険直営診療所	-	6,634万3千円	皆減
	老人保健	-	333万2千円	皆減
	後期高齢者医療	5億3,539万7千円	5億8,710万円	△8.8
	介護保険	61億514万2千円	56億9,832万7千円	7.1
	農業集落排水	2億9,037万2千円	2億2,287万8千円	30.3
	公共下水道	9,883万8千円	1億1,074万2千円	△10.7
	浄化槽施設	4,711万円	4,668万2千円	0.9
	簡易水道	3億1,072万7千円	3億4,094万1千円	△8.9
	計	127億6,758万1千円	124億4,135万9千円	2.4
合計		397億8,758万1千円	384億4,135万9千円	3.5

会計名		23年度当初	22年度当初	前年度比(%)	
企業会計	上水道特別会計	収益的収入(水道料など)	2億7,410万2千円	2億6,427万4千円	3.7
		支出(事務費、人件費など)	1億8,489万円	2億2,351万7千円	△17.3
	資本的	収入(起債、国庫補助金など)	1億3,066万4千円	918万8千円	1,322.1
		支出(工事請負費など)	2億3,000万7千円	9,025万1千円	154.9
	病院事業特別会計	収益的収入(医業収益など)	33億6,631万5千円	28億6,872万3千円	17.3
		支出(人件費、医薬品など)	34億591万円	29億9,732万8千円	13.6
		資本的収入(一般会計繰入金など)	9,687万6千円	13億1,571万9千円	△92.6
		支出(起債償還金など)	2億2,895万円	14億1,215万8千円	△83.8

# 平成23年度 一般会計予算の **主** な事業

消防費

## 消防施設整備事業

消防庁舎建設に伴う経費。

**予算額 8億693万7千円**



教育費

## 清川中学校移転改築事業

老朽化した施設の移転改築を行い、生徒および関係者が安全で安心な学校生活を送れるようにするもの。

**予算額 9億7762万5千円**



農林水産業費

## 新規就農者技術修得 管理施設等建設事業

次代の農業および地域を担う若い新規就農者を、ホームページなどで全国から確保し、次代の豊後大野市農業の浮揚を図るため、新規就農者の研修農場（インキュベーションファーム）での栽培・管理等の実践研修などを行い、新規就農者を育成するもの。また、研修生の研修宿泊施設を整備するもの。

**予算額 2302万4千円**



土木費

## 菅尾住宅建替事業

三重町菅尾住宅建替事業(1期/1棟20戸)に係る経費。

**予算額 9070万円**  
(総事業費2億8067万7千円/  
平成24年度まで)



総務費

## 庁舎整備事業

各行政部門の分散化や本庁舎の老朽化などにより、市民サービスや事務効率の低下が懸念されており、これらの問題を解決するために、新庁舎建設に取り組むもの。

**予算額 3億448万2千円**  
(総事業費32億1680万2750円)  
ただし、解体工事を除く



衛生費

## 子ども医療費助成事業

子どもの保健の向上を図るとともに、保護者の子育て支援に寄与するため、乳幼児および児童(小・中学生)の医療費を助成するもの。

**予算額 1億2009万8千円**



総務費

## コミュニティバス運行事業

高齢者などの交通手段の確保のために、コミュニティバスを運行するもの。また、今年度より「地域公共交通総合連携計画」に沿って実証運行を行うもの。

**予算額 7977万1千円**



総務費

## 高速情報通信網整備事業

市内全域に高速情報通信網を整備し、ケーブルテレビシステムを構築するもの。

**予算額 5億1471万5千円**



さらなる医師確保のために

## 研修資金を貸与します

豊後大野市民病院医師研修資金貸与条例の制定



研修医宿泊施設

**豊** 後大野市民病院に勤務する医師の確保および医療提供体制の整備並びに地域医療の向上を図るため、市民病院に勤務する意思がある者に対して、研修資金を貸与する制度を創設するものです。

商工業の発展に資するため

## 中小企業振興条例を制定

中小企業振興条例の制定



三重市街地

**極** めて厳しい経営環境下にある市内中小企業者などに対して必要な施策を講ずることにより、中小企業基本法第6条に定める地方公共団体としての責務を果たし、中小企業者などの経営の改善および経営基盤の強化の促進を図り、もって本市の商工業の発展に資するために、条例を制定するものです。

主な内容は、1000万円を限度額とする創業資金など(設備資金)の融資で、市が保証料の全額を補助するものです。

### あなたの意見や要望

## 請願・陳情



◎長湯憩いの家存続に関する請願

**趣旨採択**、市の公共施設の見直しに関する指針によると第二期集中改革プランでは、長湯憩いの家は、平成23年度で廃止し無償譲渡の計画となっているが、改修のうえ存続するよう請願するものです。

**趣旨採択って?** 財政事情などから当分の間は願意を実現することは不可能であるが、議会としては、請願の「趣旨には賛成である」という意味の議決のこと。

◎農業で暮らせる農業施策を求める請願

**採択**、農業は大変厳しい状況にあり、農家の生活は困窮している。農業は、経済的機能はもとより食糧の安全保障、国土保全、農村の景観形成等、多面的機能をもち合わせており、国家的見地をもって農業の振興を図る必要がある。今、政府はTPP交渉等に積極的な姿勢を見せているが、国内農業の保護、振興策の必要なこの時期の参加には賛成できない。よって、右記趣旨の意見書を提出するよう求めるものです。

◎脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を要望する意見書の提出を求める請願

**採択**、脳脊髄液減少症は、交通事故等の身体への衝撃が原因で、脳脊髄液が漏れ、減少することによって引き起こされる。しかし、本症の治療に有効であるブラッドパッチ療法については、いまだに保険適用されず、高額な医療負担に、患者及び家族は、依然として厳しい環境におかれている。よって、脳脊髄液減少症の診断及び治療の確立を早期に実現するよう、国に意見書を提出するよう求めるものです。

奨学金・入学準備金貸付基金条例の制定

## 奨学金・入学準備金貸付基金を設置

三重総合高校への就学を支援

**市** 内3校および市外1校の県立高校の再編の結果、平成18年4月に大分県立三重総合高等学校が新設され市内唯一の高校となりました。

学校規模の維持などについて、市としても積極的な支援の必要性を認識し、当該高校に就学を希望する市内在住の生徒および保護者への経済的な支援を行い、進学しやすい環境の整備を図るため、条例を制定するものです。

○奨学金  
月額1万2000円

○入学準備金  
15万円以内



三重総合高校にて

# 平成23年度一般会計予算について

規模は270億2000万円

**質**

予算の中で、重点政策の事業は何か。

**答** 市長

「高速情報通信網整備事業」「新庁舎建設」「学校耐震化」などです。

**質**

事務事業の見直しによる廃止、縮小した事業の実績評価は。

**答** 市長

副市長をトップとする内部評価委員会を設置し、各事務事業においてヒアリングを行い業務を評価しました。

**質**

国の緊急経済対策などの交付金の効果をどのように分析、評価しているのか。

**答** 市長

将来発生すると考えられる市の負担を、大きく軽減できたもの判断しています。



改築した三重第一小学校の体育館

**質**

第2期集中改革プランの削減目標達成に向け、計画どおり推移しているのか。

**答** 市長

給与費や公債費以外の「人件費」や「物件費」などの費用を削減していきます。

**質**

今後の財政見通しと課題は。

**答** 市長

平成31年度からの5年間は、基金の取り崩しによる財政運営を余儀なくされるため、今後は確実に行政改革を断行していきます。

ひでやすの お 小野 泰秀  
清風クラブ

# オオカミ再導入について

〜今こそ議論を始める時期〜

**質**

この度の市長のオオカミ再導入発言は、全国的な話題となつていきます。あたくも豊後大野市民や議会が同意をしたことくに聞こえるが、少なくとも議会において一度も議論したことすらありません。ご自分の考えに自信があれば、「1メートルからの民主主義」を標榜する市長だけに堂々と議会で議論し、市民に対して説明すべきと考えます。一連の市長の言動は、議会軽視、市民無視と言わざるを得ません。

オオカミが日本の森林に住めるのか、減らす必要もない在来の野生動物や家畜にも影響を及ぼす恐れもあり、さらには人を襲わないという保証もありません。

このような状況下にあっても、オオカミの再導入を考えているのか。

**答** 市長

オオカミ再導入については、市民の同意、さらには県を含めた近隣自治体および国の関係機関の合意がなければ実現できなく、自治体を取り組む課題ではないが、議論を始める時期であると考えています。



平川動物公園（鹿児島市）提供

# 教育行政について

〜教育活動の充実に取り組む〜

**質**

今年4月より小学校から新学習指導要領が完全実施されるが、この度、改訂された学習指導要領の趣旨を実現するためには、指導体制の確立を含む教育条件の整備、指導方法の改善が求められているところだが、本市としてはどう対応していくのか。

**答** 教育長

主な改訂内容については、「確かな学力を育成するための授業時間数の確保」「小学校段階における外国語活動」「中学校における武道の必修化」などが示されております。

授業時間数の増加については、段階的に授業時間を増加しながら円滑な移行を進めていきます。

小学校外国語活動については、市費による「小学校外国語活動推進事業」を展開し、準備を進めています。

中学校の体育分野における「武道の必修化」については、平成23年度より市内すべての中学校に柔道着や剣道用具を準備し、中学校ごとに柔道または剣道を選択し実施します。

**質** 行財政改革の進捗状況と、その成果をどう捉えているか。

**答** 市長 行財政改革において、「第2期集中改革プラン」では、削減目標を11億8000万円として、職員数の削減や給与制

しんちよく  
**行革の進捗状況は**

～11億8000万円を削減目標～

**質** 度の見直しを行っており、公債費については、有利債を最大限活用した計画的な削減を行っております。

**答** 市長 今後、市民へ行革の必要性について理解と協力をいただけるよう周知してまいります。

平成23年度から行政組織の再編をスタートさせる計画であったが、

これまで行政組織・機構の課題について調査やヒアリングなどを実施し、課題解決の方策を始めとする計画の素案について検討を進めてまいりました。6月には「行政組織・機構(案)」を議員の皆様にご説明し、新しい組織体制の構築を図ってまいりたいと考えてい



ケーブルテレビ情報センター (大野町)

**市政2年間の総括は**

～今後も早期事業の執行に努めます～

**質** 市長就任後2年が経過しようとしているが、これまでをどのよう



無所属の会 **安藤 豊作** (あん どう とよ さく)

**答** 市長 これまで「第一次豊後大野市総合計画」の8つの政策目標に基づき、その実現に向けて取り組んでまいりました。

平成22年度は、「行財政改革の充実」「新庁舎建設事業」「高速情報通信網整備事業」などに

さらに国の「地域活性化臨時交付金事業」を積極的に取り入れ、これまでに総額約92億5000万円に及ぶ事業を執行し、社会資本の整備や地域に密着した道路の整備、子どもたちに安全な学校耐震化対策の事業などを展開してまいりました。

ます。実施時期については、平成23年度を「部制」から「課制」への準備年度とし、平成24年4月1日からと考えています。

**質** 公共交通やコミュニケーションバスの見直し計画はどうなっているのか。



コミュニティバス

**答** 市長 これまで公共交通運行情況の把握や乗降調査、アンケート調査などを行い、公共交通の課題の整理や具体的な取り組みを協議してまいりました。

主な課題として、コミュニティバスの運行基準の統一などが挙げられます。

課題解決に向け、JR線や乗降客数の多いバス路線を基幹路線とし、コミュニティバスを枝線と位置づけ、路線ネットワークの構築と再編を行うことを目

標といたしました。市民生活に合わせたルートとダイヤの設定を行うことを目標とし、実証運行については、本年10月を目標に準備を進めてまいりたいと考えています。

また、三重町と清川町の一部地域では電話予約によるデマンドタクシーの運行も行い、実証運行の期間中に、事業の分析と検証を行っています。

※デマンドタクシー指定されたエリア、曜日及び時間に限り合意で運行するタクシー。



辞令交付式 (新採用)

**質** 第2期集中改革プランの実行成果について伺う。

### 行財政改革の推進について

～まずは第2期集中改革プランの達成が第一～

**答** 市長 各部署の取り組みとして、平成26年度までに3億4000万円を削減する計画表の作成に取り組んでおり、現在、2億6000万円の積み上げが達成できています。

**質** 平成21年度事業評価が平成23年度予算にどう生かされているか伺う。

**答** 市長 平成22年度から取り組んでいる予算と連動させた事務事業評価シートを活用するとともに、内部評価委員会が全庁的な視点から評価した10項目に関する指摘事項と事業ごとの指摘事項に対し、平成23年度から削減できるものについては、予算に反映させています。



民間に譲渡された『清川診療所』



おのしげとし 小野栄利 緑政会

**質** 平成32年度目標値達成までの進め方について伺う。

**答** 市長 平成26年度までに11億8000万円の削減を行ってまいりたいと考えていますし、第3期集中改革プランにつきましては、さらに厳しい削減を実施しなければならぬ状況になります。事業選択による各々の事業の廃止や縮小を、外部評価の導入により推進することも検討する必要があります。

### 農林業の活性化策について

～目標の達成に向け全力で取り組む～

**質** 農林業の沈滞の現状が続いているが、第2次農業振興計画実践について伺う。

**答** 市長 「チャンス×チェンジ×チャレンジ」をテーマに、「儲かる農業の実現」「誇りとやりがいの持てる農業の実現」「若者が残る農業の実現」が「農業によるまちづくりの実現」を基本目標として掲げ、「人づくり」「ものづくり」「システムづくり」を体系の柱にまとめました。第2次計画では達成できる振興目標として、5年後の農業粗生産額を120億円に設定し、農業者および行政、農協、関係機関と一体と

なり、振興目標達成に向け全力で取り組んでまいります。

**質** 市内にある集落営農組織は、県内トップクラスにあるが、経営的に厳しい実態がある。今後の支援策をどう考えるか伺う。

**答** 市長 経営実態把握のため、中小企業診断士などの経営分析を導入し、経営改善指導を実施する。また、経営発展チャレンジ計画を策定し、「儲ける組織づくり」「後継者の残る組織づくり」に向けた取り組みを積極的に支援します。



※その他の質問  
・子育て支援について

**質** 鳥獣被害が拡大する中での対策は。さらにオオカミ再導入に反対の立場で、市長の考えを伺う。

**答** 市長 捕獲報奨金の増額と電気柵や防護ネット設置に係る補助なども実施している。本年度実績については、昨年の2倍以上捕獲。額にして7400万円の実績となっている。オオカミを再導入せずとも良い施策があればそれを優先させていただきます。

## 入札参加資格の見直しを

～現行資格規定を継続～



みや なり あき よし  
宮 成 昭 義

**質**

市が定めている建設工事などの入札・契約手続きの指名競争入札参加者の設計金額および指名業者数の見直しをする考えはないのか。

**答**  
総務部長

入札の透明性、競争性の確保の観点からも、現行規定を継続したいと考えています。

**質**

指名業者数を減らし、地元業者がより参加できる状況で見直しをすることが地元業者の育成、活性化からして必要であると考えますが、その点をどのように捉えているのか。

**答**  
総務部長

県と比較しても指名業者数は少なく規定しています。今後は、出来る限り市内業者の育成を念頭に取り組みます。

**質**

地元業者育成、等級上げの観点からして、分離・分割発注をなすべきであると考えますが、どのように捉え、考えているのか。

**答**  
総務部長

道路改良工事、建築工事など、その考えで発注しています。



三重中学校の解体工事

## ケーブルテレビの利活用は

～新たな活用も視野に～



ケーブルテレビ情報センターのスタジオ（大野町）

**質**

ケーブルテレビの多方面での利活用について、どのような考えをもっているか。

**答**  
市長

少子高齢化によるコミュニティの維持、環境問題など、このシステムによる活用なども視野に入れ、一層の利便性の向上を図っていきます。





わだ はるひろ  
和田 哲治

## 「不登校・いじめ」 その実態と支援策を問う。

学校復帰へ力を

質

市内の小学校・中学校における発達障がい児および不登校児童の実態と、現状での教育支援策を問う。

答 教育長

平成22年度では、発達障がい児は特別支援学級で45人、普通学級要支援児で49人です。不登校児童・生徒は40人、完全不登校児童・

生徒は8人となっております。

発達障がい児の支援策については、臨時講師10名、援助員16名を配置して学習を保証しています。教育支援センター「かじか」を中心に学校復帰に取り組んでいます。

質

学校内での生徒間のいじめが原因とする不幸な出来事が後を絶たないが、本市管内での報告はあるのか問う。

答 教育長

学校が認知して教育委員会に報告があった件数は、小中学校併せて平成22年度は59件となっております。「いじめ」は、早期発見、早期対応が大切、指導に全力を挙げていきたい。



教育支援センター『かじか』

質

議員からの市政への提言、施策の提案など執行部は様々な一般質問を受けているが、検討の経過や結果の報告について明確化ができないかを問う。

## 内部でいかに検討 議員からの要望・提言事項

～結果報告の方法を検討～

答 市長

これまでの提言に関し、経過および結果の報告について、方法および時期などを検討し実施してまいります。

質

要望・提言を受けての具体策の実績を問う。

答 市長

平成23年度予算に「概ね65歳以上の寝たきりおよび独り暮らしの高齢者」を対象とし、指定の火災報知機を設置した方に、補助を行う事業を創設するなど多くの要望に対して実施されている。  
今後も施策に反映できるように努めてまいります。

道路脇の支障木

～所有者、地域皆様で対応を～

質

安全で快適な市道を。市道脇の支障木の現状と処理の状況は。



え とう ち よ こ  
恵 藤 千代子

答 建設部長

支障木は、過疎高齢化や高所の作業のため、伐採の要望が多く寄せられています。

支障木の除去については、原則として、物件の所有者に処理をお願いし、不可能であれば地域で協議し、対応していただきたいと考えています。地権者や地域で対応できない箇所は、安全性や緊急性を考慮した上で、今後補助事業を活用しながら、処理してまいります。

質

行政と住民協働による道路の環境整備、今後の対策は。

答 建設部長

市道の草刈りなどを実施した自治区202区へ、今年度782万6000円を交付して



道路上におおいかぶさった樹木

います。

原課としては、この道路愛護作業補助金は、効果があると考えています。引き続き財政課と協議をしながら、継続していききたいと考えています。

質

三重町中心部に核となる児童館を庁舎建設計画と総合的に可能性について検討することだったが、検討結果は。

答 市長

既存施設の改修利用などを想定し、現在地周辺を検討していたが、

三重児童館整備の実現

〜再検討を急ぎたい〜

中央公民館存続の陳情書が提出され、内部検討時と状況が変わりました。

既存施設を含め選定してまいります。

何年何月にできるとは言えませんが、放置していいとは思っていません。重要な課題と位置づけ、関係部局との再検討を急ぎたい。



三重児童館

# 大丈夫なのか？ ケーブルテレビ

く会話が生まれる  
市民チャンネルを目指します

**質**

工事の遅れで工期が延長されたが伝送路整備工事と宅内工事の兼ね合いは大丈夫か。

**答** 市長

宅内工事の終了期間も6月30日まで延長させていた、できました。工程的な負担は増えていないと考えます。しかし工期の遅れによる負担は大きく、多大なご迷惑をおかけしました。

**質**

ケーブルテレビ施設運営委員会と番組審議会の委員の陣容など、その内容は。

**答** 市長

いずれの組織も、各種団体の代表者と識見を有する者、そのほか市長が必要と認める者の10人以内で組織される。市民の声を広く反映させるよう考慮しながら市長が委嘱をします。

**質**

市民チャンネルの番組内容は。

**答** 市長

より完成度の高い番組を提供するために、職員による豊後大野市ケーブルテレビコミュニティチャンネル検討委員会を立ち上げ、番組制作に取り組んでいます。



ながのけんじ  
長野健児

内容については、メインとして行政情報を伝えるニュース、イベントのPRコーナー、市民に紹介したい人物、事柄などを詳しく紹介する特集コーナー、農業関連情報、スポーツなどのコーナーで構成されます。

**質**

番組に対する市民の意見を聞く手段は。

**答** 市長

番組モニター制度を検討しています。

**質**

人口減少に伴う加入率減少が懸念されるが、その対策は。

**答** 市長

市民チャンネルの充実だと考えます。市民の皆様が欠かさず番組を見たくなり、見た人たちから会話が生まれる市民チャンネルを目指します。



V-ONU (光回線終端装置/光信号を放送の信号に変換する機器)



D-ONU (光回線終端装置/光信号を通信の信号に変換する機器)

## 地域コミュニティを守れ

～支援策を検討～



いとうのりよし  
伊藤 憲 義

**質**

長湯憩いの家の存続に関する請願をどう考えるのか。地域の自治委員、老人会は公設を望んでいる。PFI方式（民間資金活用による社会資本整備）の検討はできないか。

**答**  
市長

社会福祉協議会から指定管理業務の辞退願いが提出され、今後の施設運営は市の負担がないようにすることを前提に、公募の方針といたしました。

公募条件は、市民が利用できる地域交流施設を設けること、土地は有償、温泉権は無償

にて貸与、建物は無償で譲渡し、改築・新築は自由といたしました。PFI方式も検討に値します。今後、応募がない場合、詳細に検討したいと思えます。



豊後大野市地域公共交通活性化協議会

**質**

豊後大野市地域公共交通総合連携計画での課題を踏まえた方策をお尋ねします。

**答**  
市長

現在の状況は清川、緒方、朝地、大野の各町にコミュニティバスを運行しており、三重千歳、犬飼の3町は運行していません。

地域ごとに異なる交通体系の均衡を図るため、格差の是正を行い、4町で運行体系を見直し、3町では新たに運行を開始します。

コミュニティバス路線における基幹路線としましては、緒方町の長谷川線、上緒方線、朝地町と大野町から市民病院を結ぶ線とし、その他の路線を枝線といたします。

また、新たに三重町と清川町の一部で、デマンドタクシーの運行を計画しており、開始時期は本年10月からを予定しています。

# オオカミの真意は

他の鳥獣対策を優先

**質**

オオカミを通じて、自然生態を研究・学習することは、意義のあること。

しかし、いざ導入となると、将来への不安から危惧する声が多い。真意は。

**答** 市長

オオカミの再導入は、市民の同意、県を含めた近隣自治体の合意、国の関係機関の合意がなければ実現することができません。

現在、行っている被害防止策以外に、シカやイノシシの個体数を減らし、鳥獣被害の防止や生態系の回復・維持ができる良い施策があれば、それを優先させたい。

**質**

鳥獣被害対策は、国土保全・森林整備など自然保護、環境保全の面から、本来は国の政策とすべき課題。国への働きかけは。

**答** 市長

国は自治体に任せるとはなく、国の責務との認識に立ち、新たな対策の開発・普及や予算措置を図り、国の責任において取り組むべき問題と考えています。

県内17自治体にて、昨年12月に直接、農林水産省へ要望したところ。

今後も引き続き、国へ鳥獣被害対策についての要望を行ってまいります。



あか みね けん じ二  
**赤 嶺 謙 二**



オオカミの復活を考える勉強会（東京）

**質**

水量・水質ともに不便を感じている地区（松谷、小津留の一部など）に対して、スピード感のある手だて（例えば、飲料水の運搬など）が必要では。

**答** 市長

その緊急性において、それぞれの状況に合わせて対応させていただきたいと思えます。

## 生活用水の確保を

～未普及地域の解消に努力～

## 改革とは言葉のみか

～人と組織の力です～



ふか たいせい ぞう  
深 田 征 三

**質** 毎年の施政方針には、県内一の政策集団が集う自治体を目指すことなど、同じ言葉が並ぶ橋本市政も2年を経過するが、なぜ職員に伝わらないのか。資質向上のためISO（国際標準化機構が定めた国際規格）を導入するなど、目標管理と人事評価が必要と考えられるが。

**答** 市長

職員に対して、  
①市民の声をきちんと受け止めること。  
②地域に住む生活者として意識すること。  
③仕事の専門性と政策能力を高めることを自覚し、大分県一の政

策集団が集う自治体になるよう訓辞。この言葉を機会あるごとに継続して意識改革を徹底したい。ISOの手法に限らず、事業の進捗管理は必要と考えています。



市長訓辞

## 進まぬ改革

～現行体制にて努力～

**答** 市長

トップマネージメント体制の強化が重要であると認識を持っています。

多種多様化する行政需要や市政課題に迅速に対応するための、事務執行体制の強化に向けて、行政上の懸案事項や課題への的確な対応には、庁内の連携と時機を得た内部調整が必要として、この執行ルールの定着と円滑な事務処理体制に向け努力しております。

また、第2期集中改革プランに沿った、人件費抑制への対応にも、現行の副市長体制で管理職の指導強化と副市長を始めとした補助機関の事務執行体制の強化を図ってまいります。

**質**

掲げた改革の推進・断行のため、トップマネージメント（管理組織の最高幹部）強化が重要である。

先進自治体のOB起用など、副市長2人体制は考えられないか。



こうじな ひろ  
神志那 文 寛

## 高額療養費の払い戻しは

～対象者へ通知します～

**質**

国保における高額療養費、介護保険における高額介護サービス費の払い戻しの実態は。

**答** 生活環境部長

国保は、平成21年度分のうち1349件、1914万4397円が未申請、平成22年度のうち926件、1497万8188円が未申請です。

現在、通知は行っていませんが、平成23年度は、対象者への通知を行いたいと考えています。

**答** 保健福祉部長

介護保険は、平成21年度分のうち258件、101万3871円が未申請、平成22年度分のうち198件、85万2576円が未申請です。

介護保険では、未申請の方々へ通知を送付しています。



**質**

TPPに参加することによる、本市への影響は。

**答** 市長

米・野菜・畜産を中心に約45億8000万円、42・8%の減少が予想されます。

## TPP参加で市民の暮らしは

～影響があることは必至～

**質**

医療や公的医療保険、食の安全・安心への影響も心配される。

市民の暮らしへの影響は。

**答** 市長

多くの事が貿易自由化の名の下に協議されるということ、我々市民の暮らしに影響があることは必至であると、受け止めなければならぬと考えています。

**質**

市長も、TPP参加反対の意志を明確にしていたきたい。

**答** 市長

関係機関や団体などとも連携を密にして対応してまいりたいと考えています。

※TPP＝環太平洋経済連携協定

# 夢に描く未来像は可能か

～職員一丸となつて  
お 推し進めていきます～



ひろまさ とうまさ ひろ  
衛 藤 正 宏

**質** 少子高齢化の豊後大野市。地域を支え、高齢者を支え、子どもたちを支える施策は市長の責務。日本一の政策集団による住みよい街の実現はどう進めるのか。

**答** 市長

地方分権一括法が施行され、自治体の位置づけが国と対等な「地方の政府」へと大きく変わりました。地域の将来像を描き、個性を生かしたまちづくりを進めるための権利と責任が出来たのです。

そこで、住民、議会および行政の自覚と権利と責任を明確にした「自治基本条例」の制定に努めてまいります。さらに、市職員が市役所とのパイプ役として地域を支援する「地域担当制度」の充実に努め、財政基盤の確立を図り、豊かな自然と環境を守り、健康で笑顔のあふれる未来ある豊後大野市のまちづくりを推進してまいります。



**質**

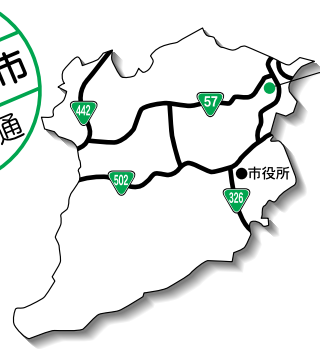
平成22年度の滞納額は、13億9607万8331円となっているが、この滞納の原因分析と今後の収納体制は、

**答** 総務部長

滞納の要因としては、長引く景気の低迷により、失業者、倒産などによる所得の減少により、苦しい生活が強いられるところが主要因と捉えています。

収納体制の見直しを図るため、これまで収納課長が開催していた『収納関係連絡会議』を副市長を本部長とした『市税等収納向上対策本部』に改め、これまで蓄積してきた収納業務における効果や問題点の検証などを行い、収納体制の確立強化を図ることとしています。





平

成17年3月31日の町村合併後、はや6年。それぞれの地域を訪ね、人・文化・歴史・産業・自然・景観などに触れ、『ふるさと』をもっと知り、その魅力を発信しようと思いい立って、今回で10回目を迎えました。

春

の陽気に誘われ訪れたのは犬飼町田原の渡無瀬地区。戸数は14戸で、豊肥本線犬飼駅より3キロメートルほど。車では5、6分である。



昭和15年に撮影された犬飼石仏 ※村上万喜子さん提供

ふるさとを訪ねて

地

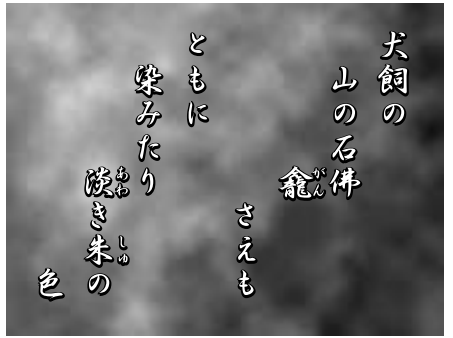
区の皆さんから迎えていただき、案内された国指定の犬飼石仏は、『大野川流域不動尊霊場 第十五番札所』の看板がかかる犬飼崖佛です。

うっそうとした曲りくねった市道を車で上がると、阿蘇凝灰岩でできた洞窟のような岩壁、その真下のお堂。そしてさらに向こうには岩に掘られた『南無大師遍照金剛』の大字がまず目にはいる。また入口付近には、案内板と与謝野晶子の



現在の犬飼石仏

お



歌碑が建てられている。お堂の中には高さ3メートル76センチ

の不動明王が大岩壁のくぼみに厚肉彫りされており、結跏趺座でどかつと前方を見据えている。慈しみの御顔に接すると何とも言えない気持ちになる。

地元はもとより遠方から多くの方々が当地を訪れている。はじめの方、何度も足を運ばれる方。心が清まり、感動を覚えるとのこと。年にわたり、日々当地を見守り維持管理をされている渡無瀬地区の皆様にご感謝と御礼を申し上げます。

長

※結跏趺座＝座禪を組むこと。左右の足の甲を反対の足のもの上に交差し、足の裏が上を向くように組む座法。



渡無瀬の方々 左から村上明子さん、村上幸恵さん、村上克典さん、村上郁夫さん

## フィールドワーク研修

### 3/3 議会人権同和問題研修会

**市** 議会主催の人権同和問題研修会が教育委員会大野支局大野公民館で行われました。

室内での説明の後、講師の河野宗雄さんと一緒に現地を訪れ、その場で研修を行うという方法のフィールドワーク研修を行い、「部落はいつごろできたのか」「どういう人が部落の人になったのか」「どんな差別を受けてきたのか」「解放に向けての取り組み」などのお話がありました。

**フ** ィールドワーク研修後は、まとめとして画像を見ながら訪れた場所を再説明してくれるなど、とても分かりやすい研修となりました。



明尊寺



講師の河野宗雄さん

## 豊後大野市議会も支援

### 3/18 東北地方太平洋沖地震で被災された方々への支援を行う決議を可決

**3** 月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、地震と津波による被害は甚大なものとなっています。

**豊** 後大野市議会は、今回の地震・津波・原発災害で被害を受けた方々を救援するために、市民の先頭に立って全力で支援を行うことを決議いたしました。

## 学校訪問を実施

### 2/17 厚生文教常任委員会

**昨** 年11月に引き続き、2月17日に所管事務調査を行いました。

おおのさくら幼稚園、朝地小学校、朝地中学校、緒方中学校、そしてへき地小富士保育園の5か所を訪問し、子どもたちの授業を参観したり、園長や校長と意見交換などを行いました。

**今** 後も厚生文教常任委員会では、市内の全小中学校などを訪問する予定としています。



朝地小学校



委員長  
高山豊吉



副委員長  
小野泰秀



委員  
佐藤辰己

市民の皆さま方との触れあいを念頭に、広報紙づくりなすきに携わってまいりました。

老・若・男・女。

さまざまなお考えが生き生きとした豊後大野市づくりにつながるように……。

多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

※平成23年3月11日に起きた東日本大震災のつめ跡は、あまりにも大きい。早期の復興を祈るのみであります。

広報委員会として

の力量が問われることは、質問者、答弁者の趣旨を十分把握し、それをいかに正確に限られた字数に

納め、しかも読者に分かりやすいものが出来るかだ。果たして、そのことが果たされたのか疑問の残るところであるが、

ただ言えることは、広報委員一丸となつて持ちうる力の限りを常に出し切つてきたことだ。

今は達成感と安堵あんどの気持ちだ。広報委員の皆さん、2年間お世話になりました。

『ありがとう』と皆さんに伝えたい。ことばを文字にする難しさを痛感した2年でした。広報を等しく正確に伝える使命の中、何度も委員会を開催し、その度に一字一字を確実にしながら、合わせて自分自身の研鑽けんざんが出来ました。

『一回の広報紙作成に多くの時間を費やしたこと』、『児童生徒のひとことで、真の声のかけ橋になつたのではないか』などが思い出されます。

今後市民との声のかけ橋に期待します。

『ありがとうございます』

『ありがとうございます』

『ありがとうございます』

『ありがとうございます』

## 2年を振り返って

### 議会広報編集委員を務めた委員から



委員  
和田哲治



委員  
沓掛義範



委員  
神志那文寛

2年前、何となく読んでいた自分が、気がつけばその議会広報編集委員。すべてにそつ無く熟ななすベテラン委員(議員)に、ようやく付いてこれたこの前期2年間でした。

地元の小・中学生への記事の依頼や誌内の写真撮影へも初めての経験でしたが、多くの市民と触れ合うこともできました。編集に携わっていることも認められ、多くの皆様より「読みやすいし、次回も楽しみにしているよ。」との声。感謝。

議会広報編集委員として2年間、自分独自の機関誌を発行することのない自分としては、この議会広報を通して、多くの皆さまに情報を伝えられたらとの思いで活動してまいりました。

限られた字数の中で、いかに正確に物事を伝えるかということの難しさを教えられた2年でありました。これから多くの皆さまに読んで頂ける議会、たより「声のかけ橋」を発行してまいります。

20年余離れていたふるさと三重町、合併して一つになった豊後大野市。広報委員会で各議員の一般質問を振り返る、写真撮影で各所をお訪ねする、その一つひとつが新鮮な再発見でした。

今や発行物は、読ませる物から魅みせる物へ、担当職員の手腕に助けられ、見やすい誌面づくりが出来たのではないかと自負しています。引き続きのご愛読をよろしくお願いいたします。

## より住みよい豊後大野市へ

私は、1年生の時、大分市からこの豊後大野市に引っこしてきました。豊後大野市には祖父の家があり、度々、遊びに来ていました。

私が以前住んでいた大分市は、生活するには便利の良い所でしたが、私と私の家族も、この豊後大野市の豊かな自然や美味しい食べ物が大好きだったので引っこして来ました。

ここに住んで私がうれしく思ったことは、『地域の人々が温かいな』と感じたことです。近所の方が取れたての野菜や果物を分けてくれます。また、地域の方々が私たちの登下校を見守ってくれているおかげで、安全に学校へ通うことができます。このような温かい町だからこそ、子どもからお年寄りまで生涯安心して暮らせる町であり続けなければならないと思うのです。そのためには、医療や福祉、環境整備などをさらに充実させていく必要があると思います。

将来、豊後大野市が大分県の中で、「住んでみたい町No.1」になれるとうれしいです。



三重第一小学校 6年  
おがさわら ち さ こ  
小笠原 智咲子

## これからを見つめて



緒方中学校 3年  
いたみ み お  
板井 美緒

私は緒方町の雰囲気が好きです。あいさつが多く、緒方の有名なチューリップ、そして水車もあるからです。小さな町だけど、図書館、駅、老人ホームも設置されています。

しかし、問題も少なくはありません。登下校をするとき、人通りの少ない暗い通り、誰も住んでいない空き家などの危険な場所があります。このような状況は、緒方町だけではなく、他のたくさんの地域でも見られます。

こういった過疎化にともなう問題が進んでいる今、緒方町だけではなく、豊後大野市全体で町を盛り上げていく事が必要だと思います。

何度も言うように私は、この生まれ育った緒方町が好きです。この緒方町が過疎化に負けず、活気があり、助け合う心を忘れない、そんな町になっていけばよいと思います。それが市全体に伝わり、みんなが幸せになっていくことにつながる、これから、そんな緒方町になるように、自分のできることをしていきたいと思います。

広報編集特別委員会  
委員長 高山 豊吉  
副委員長 小野 泰秀  
委員 佐藤 辰己  
委員 和田 哲治  
委員 沓掛 義範  
委員 神志那 文寛

### 議会を傍聴してみませんか？

6月定例会は、6月中旬に開会予定です。

詳しくは議会事務局 TEL 0974-22-1001 へ